



農業王国・十勝の第一歩を築いた先駆者 依田 勉三

【指導事例 1】

1 主 題 「先人の努力と意志を知る」〔希望と勇気、克己と強い意志〕

2 ねらい

困難を乗り越える人間の強さについて考え、くじけずに努力して物事をやり抜こうとする心情を育む。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、北海道開拓のために様々な困難に立ち向かった依田勉三の功績に触れることを通して、くじけずに努力して物事をやり抜こうとする心情を育むことをねらいとしています。

前半では、依田勉三の生い立ちと、広大な未開の地、北海道での開拓の成功を夢見て「晩成社」を設立し、十勝に入植した様子について触れています。

後半では、度重なる天候不順や害虫発生、思うように進まなかった事業拡大の様子とともに、常に北海道開拓の歩みを止めなかった勉三の思いや行動について示されています。

指導に当たっては、現在の農業王国十勝が築き上げられる礎となった「晩成社」の歩みから、常に強い意志を貫いた勉三の思いを理解するとともに、自分との関わりにおいて、どんな困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜こうとする生き方について考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「依田勉三の詠んだ歌を通して、物事をやり抜こうとする心情について考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 今がんばっていることや続けていることについて話し合う。 ○ 自分の周りの中で、がんばっている人や物事をやり続けている人はいますか。また、その人を見て、どう思いましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・通っているピアノ教室に、とても上手に弾く人がいます。たくさん練習しているのだと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「農業王国・十勝の第一歩を築いた先駆者」を読み、話し合う。 ○ 依田勉三はどんな夢をもって「晩成社」を設立し、北海道に入植したのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・農業を成功させたい。（たくさん収穫したい。作物の種類を増やしたい。） ・経営規模を拡大したい。（経営面積を増やしたい。いろいろな農業に挑戦したい。） ◎ 「開墾の始めは豚と一つ鍋」という歌を読んだ時の依田勉三は、どのような思いをもっていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成されていない。ここでやめるわけにはいかない。 ・これまでの成果を生かして、少しでも計画を前進させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が、大きな夢と希望をもって入植してきた当時の様子を捉えることができるようにする。 ・事業が思うように進まない中でも、くじけずに努力しようとする強い意志について考え、価値理解・人間理解を深めることができるようにする。 ・強い意志をもつために大切なことは何かについて多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深めることができるようにする。 ・困難があってもくじけずに、物事をやり抜こうとする心情について考える場を設ける。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 困難に負けず、努力を続けることについて考える。 ○ 自分ががんばっていることや続けていること、目標などはありますか。目標達成に近づくために何かできることはありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 困難を乗り越える人間の強さについて、自分との関わりの中で考えている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※やり遂げたときの喜びや充実感を味わった経験についての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するために、努力してやり抜こうとする心情が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「先人の努力と意志を知る」〔希望と勇気、克己と強い意志〕

2 ねらい

より高い目標にむかって、困難があってもくじけずに、努力してやり抜こうとする心情を育てる。

3 展開例—②「十勝入植は成功か失敗かの議論を通して、やり抜こうとする心情について考える展開」

4 主な学習活動

(1) がんばっていることや続けていること、目標などがありますか。

- ・習い事の大会で上位に入賞したい。
- ・少年団活動やスポーツで大きな大会に出場したい。
- ・家庭学習を頑張っているの、テストの目標点数を達成したい。

(2) 依田勉三の十勝入植は成功だったのでしょうか、失敗だったのでしょうか。

- ・先進的な事業を行ったから成功だった。
- ・現代農業にもつながる功績を残したから成功だった。
- ・仲間の期待も裏切った無謀な計画だったから失敗だった。

(3) 依田勉三があきらめずに最後までがんばったのはどのような思いがあったからでしょうか。

- ・自分が最初にやってみるんだ。
- ・まだできる努力はあるはずだ。
- ・自分の信念を曲げたくない。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 社会科

農業に関する学習において、本教材を活用し、依田勉三が稲作や穀類、ビートや酪農など現代農業の発展の礎を築き上げたことに触れ、現在の農業王国十勝の発展の歴史についての理解を深めることができるようにする。

■ 総合的な学習の時間

地域の歴史や文化に関する学習において、本教材を活用し、産物を生かした特産品として「マルセイバターサンド」や「一つ鍋」という名前のお菓子が十勝の製菓会社で製造されているのは、晩成社が農業王国・十勝の第一歩を築いたことに由来していることに触れ、依田勉三の功績が十勝の農業の発展や、十勝の農作物が製菓材料にも多く用いられ地域産業の発展にも関連していることについて理解を深めることができるようにする。

■ 特別活動（学級活動）

一人一人のキャリア形成と自己実現に関する指導において、本教材を活用することを通して、よりよく生きるためには、常に高い目標をもち続け、その目標に近づくために小さなことでも継続し、努力を続けることがよりよい人生につながるということについて気付くことができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えることを通して、保護者の道徳の授業への関心を高めるとともに、家庭で本教材について話題にしてもらい、児童の実践意欲を一層高めることができるようにする。